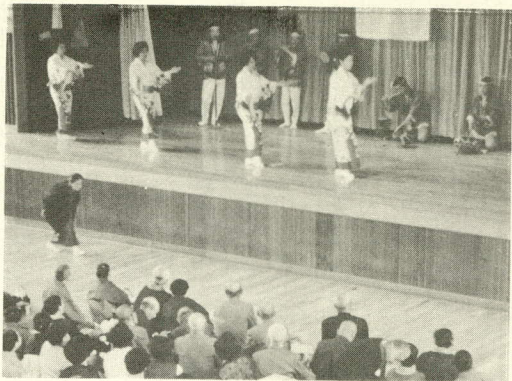


〈人口〉 男 9,014人 女 9,310人 計 18,324人 世帯数 4,030戸

- 7月のメモ 24日 白帆荘運営委員会 25日 選挙管理委員・監査委員合同研修 7日 地籍調査実施委員会 8日 明るい社会運動鹿行大会 9日 公平委員会研修 10日 空中防除 11日 大和一号線改良工用 地取得協議会 14日 新成人者研修会 16日 行方地内道路舗装 17日 国体募金研修会 18日 営農会議 20日 ノーマイカーデー 25日 老人学級開級式 27日 青少年団体指導者研修会 31日 固定資産税徴収

敬老会 6月28日

芸能人を呼んで盛会に



▶ 今年は趣向をかねて芸能人をよんだ。ちどり会一座による踊りを楽しむ。(麻生一中にて)

敬老会に招待した七十歳以上の老人は、麻生一中に四百二十五名、麻生中に七百一名でした。(麻生一中にて)

中学生のプラスバンドも応援に…。孫のステージ姿におとしよりも満足顔(麻生一中にて)



天王崎水泳場を断念

天王崎の水質については、六月中に四日間にわたって水質検査をしたところ、測定値が海水浴場の基準をこえ、また県環境局の指導により本年は、天王崎水泳場を開設しないことになりました。

神社昇殿では、当時を思い出したり、心の中で子どもや夫などに対面、いろいろな報告をしたことと思います。

靖国神社参拝をする

麻生町戦没者の追悼をする靖国神社昇殿参拝が、六月八日、麻生町主催、麻生町遺族会後援で行なわれました。

募金目標七〇万円

二百二十万県民の総力を結集し、水と緑のまごころ国体を開催されるにあたり、これを契機により躍進する未来を開く県民づくりと豊かな郷土づくりをめざし、さらに前進する茨城の歴史を築くため、広く県内外の深いご理解とご協力のもとに資金の拠出を願います。

町民柔剣道場の管理条例を制定

第四回臨時町議会が六月十八日開催され、九議案と一請願が原案どおり議決されました。

〈専決処分の報告〉

町民税の課税標準額を下げたこと、固定資産税の中で宅地を住宅用地(住宅建坪の十倍まで)と非住宅用地とに区分して課税するものです。

医療福祉費の一時負担がなくなる

〇歳児・重度心身障害者・ねたつきり老人・七十歳以上の老人(これまで所得制限を受けていた人)は、四月一日から医療費が無料になりました。

〔柔剣道場使用料〕

施設名	使用料(一団体に付き)
全施設	早朝・正午 正午・午後 午前・午後
柔道場	100円 100円 500円
剣道場	100円 100円 300円

〔善意〕

善意銀行へ次のかたが預託されました。橋門の茂木知人さんは、橋門老人クラブへ三千元。於下の高野鼎さんは、今宿禎友会へ一万元。小高の宮内正義さんは、小高長生会へ五千元。

町民運動の推進

旗・炬火リレーコース全線にカンナ球根約七千球を植付け、フラワールードの推進をおこないます。また、国体の集団演技に参加します。

〈議案第36号〉昭和四十八年度麻生町一般会計補正予算

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ六千四百二十二万八千円を追加し、歳入歳出それぞれ九億三千六万三千円とするものです。

〈議案第37号〉地域医療を守るため国保診療施設等市町村立病院の財政措置の強化について意見書(案)について

政府において、医師・医療機関の過密過疎を解消し、その適正配置を行なうとともに国保診療施設等市町村立病院の医療水準の向上充実と経営の安定を図るための措置を講ずるよう強く要望するものです。

〈請願第2号〉昭和四十八年度米の政府買入価格の大幅引上げに関する請願

請願者は麻生町農業協同組合長根本善衛氏

農村環境実態調査

調理台など台所を働きやすく
個室化するむー家族団らんを

農山村の生活の場である住宅およびその環境は、まだ必ずしも全体が満足できる状態にはなっていないようです。そこで、県内農村住宅およびその環境の実態を把握するため、昭和四十二年度において第一回目の住宅環境調査を行いました。農家の生活も急激な変化をもちあわしているものと思われ、それらを踏まえて、第二回目の調査が昨年七月に、農業改良普及所によって行なわれ、その結果が報告されました。

調査の対象

県内の専業農家と第一種兼業農家を対象に、各地区農業改良普及所の平均的地域を選出、農家戸数の約二割を調査しました。麻生町では、大字行方、於下、舟子、藤井久保の農家百四十戸が調査されました。

調査の内容

①調査世帯の概況 ②住宅の概況 ③住宅内部の生産への使用状況 ④個室の状況 ⑤押入れの状況 ⑥台所の状況 ⑦光熱設備と燃料 ⑧浴室の状況 ⑨便所の状況 ⑩給排水の状況 ⑪ごみ、し尿、ふん尿、た

世帯の構成は、一世代家族がふえ都市の世帯の傾向と同じように核家族化していることがうかがえます。家族関係の面でも子供の教育の面でも保健の面でも個室の必要性があります。今回の調査で急速に改善されていることがわかります。この個室化がゆき過ぎると家族間

の断絶にも及ぶことがあるので、個室化と同時に家族団らん場のつくりもそろそろ必要になってきます。台所に調理台があるのは六三・五割、換気扇有りは九・六割、働きやすい台所づくりにはもうすこし改善が必要で

便所があるのは、屋内八・六割、屋外六・二割、便所の照明は、屋内は八・八割とほとんどありますが、屋外は逆になどあり、八割となっています。尿の処理は、空地や山林へ投棄しているところもまだ相当あります。農村住宅は宅

地面積が広いので、これからは水洗化を進めるべきでしょう。ふん尿の処理は、一・二割が空地や山林へ二八割が埋没しています。有機質肥料として耕地へ還元することが地力回復のためにも望ましいことです。ゴミの処理は

〔おもな調査事項〕

(1)住宅の環境

	年度	世帯人員	専業農家	住宅の部屋数	住宅の面積	若夫婦室有り	老人室有り
茨城県	42	5.6人	84.1%	4.6室	30.2坪	42.9%	42.2%
	47	5.2	64.0	5.1	32.5	59.0	49.7
麻生町	47	4.1	72.4	4.8	23.1	68.5	55.2

(2)排水の処理は

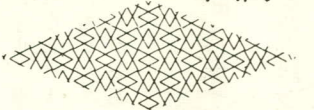
	年度	道路側溝	用水路	排水路	河川	しみこみ	蒸発式	なし
茨城県	42	3.8%	4.3%	15.4%	4.0%	38.8%	1.1%	32.6%
	47	13.7	5.9	16.0	2.8	51.4	4.8	5.4
麻生町	47	12.1	4.5	23.5	3.0	47.0	0	9.9

(3)ゴミの処理は

	年度	宅地内積みあげ	焼却埋設	宅地外投棄	ごみ収集車
茨城県	42	56.3%	23.6%	20.1%	0%
	47	32.7	39.8	19.0	8.5
麻生町	47	31.6	50.0	5.9	12.5

定期バスに不満は

行政計画相談



たものとなつてゐるにもかかわらず、その運行サービスの向上改善を求める利用者からの苦情申出は毎年あつたとたないのが実情です。したがって、定期バス運行については、利用者の潜在苦情がなごみであるものと思われ、次のようなことがありました。瀬尾正満行政相談委員(大字麻生二〇一四四)に相談してください。

定期バスの運行時刻について
▽停留所表示時刻どおりの運行が行なわれていない例
▽停留所で停車せず通りしてしまふ例
▽しばしば利用者全員が乗りきれないうちに「満員です」として発車してしまふ例
▽運転者、車掌等が乗降を確認しないで発車する例
▽鉄道、その他交通機関との接続が円かつでない例
▽終バス発車後の表示が行なわれていない例
▽増発してもらいたいと要望している例

停留所の位置、名称時刻表について
▽停留所の位置が交差点に近すぎる、または多数の利用者にとり不適当な例
▽停留所の名称が利用者にとりまぎらわしい例
▽通過予定時刻表の記載が汚損のため不明確な例
▽通過予定時刻表記載の運転定期バスは、生活に密着している例

行政相談の計画相談は、毎年テーマを決めて実施していますが、本年は「便利で乗りやすい定期バスにする」テーマで、七月三十日まで実施しています。

茨城県主催による第22回茨城県勤労者美術展が次のとおり開催されます。

茨城県主催による第22回茨城県勤労者美術展が次のとおり開催されます。

短歌

葦の葉をはなれし雪水の面に
映るあやめの影をみだしぬ
水草生ふる岸辺と思ひ来し
吾にただ一線の冷たき護岸
植え終ふて笠ぬぐ嫁の豊頼に
日焦けの紐あそくばにのこる
隠居所にながく病みある母とわれ
夜半に互に咳き折る
遠煙をたがい持ては折る
野良の茶請を分ち合うなり
泣声の耳に残りて保育所の
門去り難く佇みて居り
腰紐の赤きも混り日雇いの
農婦ら朝の青葉道ゆく
嫌はれてゐるとも知らずとくだみの
花は十字となりてはびこる
氏名 世帯主 住所
高崎 凡夫 三之丞 富田
岡里 清二 清 麻生
四村 将二 功 〃
四村 雄光 良一 〃
宮田 晴透 忠次郎 〃
箕輪 紀男 忠次郎 〃
平野 紀男 忠次郎 〃
下河辺 光恵 幸作 四石
金田 美樹 幸作 四石
稲田 里美 幸作 四石
羽生 幸徳 利 青沼
小林 幸徳 利 青沼
荒野 八重子 忠政子 〃
大川 裕美 好美 小牧
千葉 文代 大吉 宇崎
松兼 文枝 長勇 島並
大里 健寿 長寿 〃
高田 武志 市太郎 小高
梅原 義広 義恵 〃
根本 郁子 亨三 〃
根本 郁子 亨三 〃
茂木 ひろみ 良秋 舟子
大輪 美佐子 憲正 五町田
宮橋 よし 昌江 麻生
茂木 あき 盛一 〃
小沼 よの 豊雄 〃
羽生 佐衛門 忠平 青沼
宮内 セイ 正義 〃
茂木 惣之助 泰 〃
中根 もせ 昭明 〃
安藤 一明 ヨシ 〃
高野 シナ 〃